

昭和の町 昭和時代とは

日本の暦は、在位中の天皇の治世に関連する元号によってまとめられています。昭和時代（1945～1989年）は、裕仁天皇としても知られる昭和天皇と関係しています。その治世は1926年12月25日から1989年1月7日まで続きました。昭和の時代には、日本史の中でも重要な出来事のいくつかが起こりました。1927年の金融危機、第二次世界大戦、昭和30年代の経済成長（1954～1972年）などです。経済成長期、日本は戦争被害から回復して急速な現代化と文化的復興を経験しました。裕仁天皇は1989年に亡くなるまで、他のどの天皇よりも長い治世を保持しました。彼の息子である明仁上皇が皇位を継いで始まったのが、平成の時代（1989～2019年）です。この期間には経済バブルが崩壊し、昭和の時代は次第に遠ざかっていきました。

日本人のおよそ70パーセントは昭和生まれで、多くの人がこの豊かだった時を懐かしく振り返ります。漫画やアニメを含む現代の日本のポップカルチャーは、昭和の時代に育まれました。当時は今よりも可処分所得が高く、家庭でテレビを持つことが普及しました。また、アジアで初めて主催された1964年の夏季オリンピックや新幹線開通など、国として重要な成果が得られた時でもありました。

昭和の時代は、豊後高田に今も生きています。中心商店街「昭和の町」は昭和30年代の雰囲気再現しており、それが一定年齢の日本人にとって懐かしい気持ちを湧かせるものであることは間違いありません。この商店街は江戸時代（1603～1868年）と昭和の時代に関西への交易路上にあり、人気の停留所として多くの海上交通量から繁栄しました。平成の近代化の後には旅行客が減り、かつて繁盛したこの町は静かな、孤立した場所になり始めたようでした。町を守り、復興するために「昭和の町」構想が始まったのは2001年です。今では、旅行客がクッキーや衣類、玩具などここにしかない昭和土産を購入できる「昭和の町認定店」は、40店になりました。それら店舗のいくつかでは、特定の昭和の骨董品または「宝物」も展示されています。一方で昭和ロマン蔵には、昭和時代の通りやレトロなゲーム、玩具コレクションのレプリカを納めた博物館があります。